

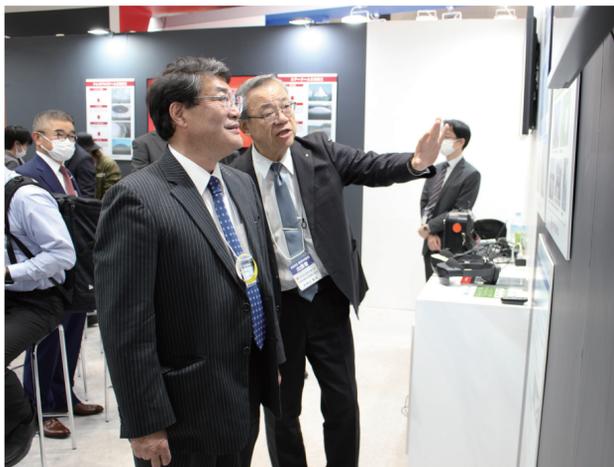
安部日鋼工業  
注目の新製品

# 角形プレキャストPCタンクのポテンシャルを検証する

## ～汎用性・生産性向上を目指した新たなPC配水池の「あり方」を学識者と確認～



安部日鋼岐阜工場内の実験施設で角形プレキャストPCタンクの水密性・強靭性等のポテンシャルを確認



昨年の水道展安部日鋼ブースで井手口社長と長岡教授による質疑応答・意見交換の様子

安部日鋼工業は、プレキャスト・コンクリートを軸にした独自技術ベースに土木分野に優れた製品・技術を長年にわたって提供してきた。同社が新たに開発した角形プレキャストPCタンクは、プレキャストコンクリートの持つ強靭性・水密性を十分に発揮するとともに、汎用性・生産性を念頭に置いた検証を経て実用化の目処が立った注目の新製品で、昨秋の水道展でも関係者高い関心を集めていた。本誌では、配水池を含む水通システム全般に造詣が深い、配水池に関する技術動向も注視している東海大学長岡教授による同社岐阜工場内の角形プレキャストPCタンクの実験施設視察に同行取材するとともに、水道展の同社ブースにおける井手口社長と長岡教授の質疑応答・意見交換を掲載するとともに、画期的な新製品のポテンシャルの確認を試みる。

### 「角形プレキャストPCタンク」の性能について

井手口社長と長岡東京都市大教授による質疑応答・意見交換  
 (2023年10月19日II水道展安部日鋼ブースにて)

井手口社長 長岡先生、先日は、先ほどもお話しした通り、プレキャストPCタンクについて説明を受ける長岡教授

井手口社長 長岡先生、先日は、先ほどもお話しした通り、プレキャストPCタンクについて説明を受ける長岡教授



間近でその構造を改めて確認



標準設計により汎用性を実現



岐阜本業工場の製品メニューや生産体制も併せて確認

現場視察同行レポート  
**長岡教授と見る角形プレキャストPCタンクの実像**

長岡教授は、水道展での井手口社長との質疑応答に先立つ昨年9月27日、同社岐阜工場内の実験施設で、4.4x4.4x5.0mの容量80立方メートルの角形プレキャストPCタンクの実験施設を視察した。

実験施設は、4.4x4.4x5.0mの容量80立方メートルの角形プレキャストPCタンク。実際に構築を目指しているのは20.0x20.0x5.0立方メートルの容量200立方メートルのタンク。躯体上部に、たゞ

現場視察同行レポート  
**強靭性・水密性を最終確認 屋根はアルミ製ピラミッド型を標準に**

長岡教授は、水道展での井手口社長との質疑応答に先立つ昨年9月27日、同社岐阜工場内の実験施設で、4.4x4.4x5.0mの容量80立方メートルの角形プレキャストPCタンクの実験施設を視察した。

実験施設は、4.4x4.4x5.0mの容量80立方メートルの角形プレキャストPCタンク。実際に構築を目指しているのは20.0x20.0x5.0立方メートルの容量200立方メートルのタンク。躯体上部に、たゞ

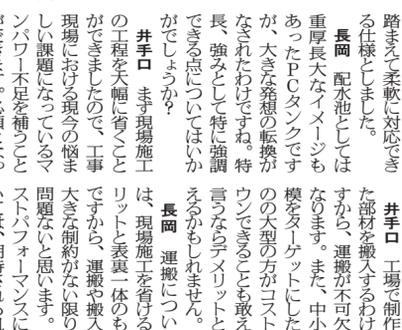
現場視察同行レポート  
**人手不足・脱炭素への貢献に期待**

井手口社長 長岡先生、先日は、先ほどもお話しした通り、プレキャストPCタンクについて説明を受ける長岡教授

井手口社長 長岡先生、先日は、先ほどもお話しした通り、プレキャストPCタンクについて説明を受ける長岡教授



パネルを前に活発に質疑応答



動画等も含めて詳細な説明を受ける



多様なPC製品に関心を示す